

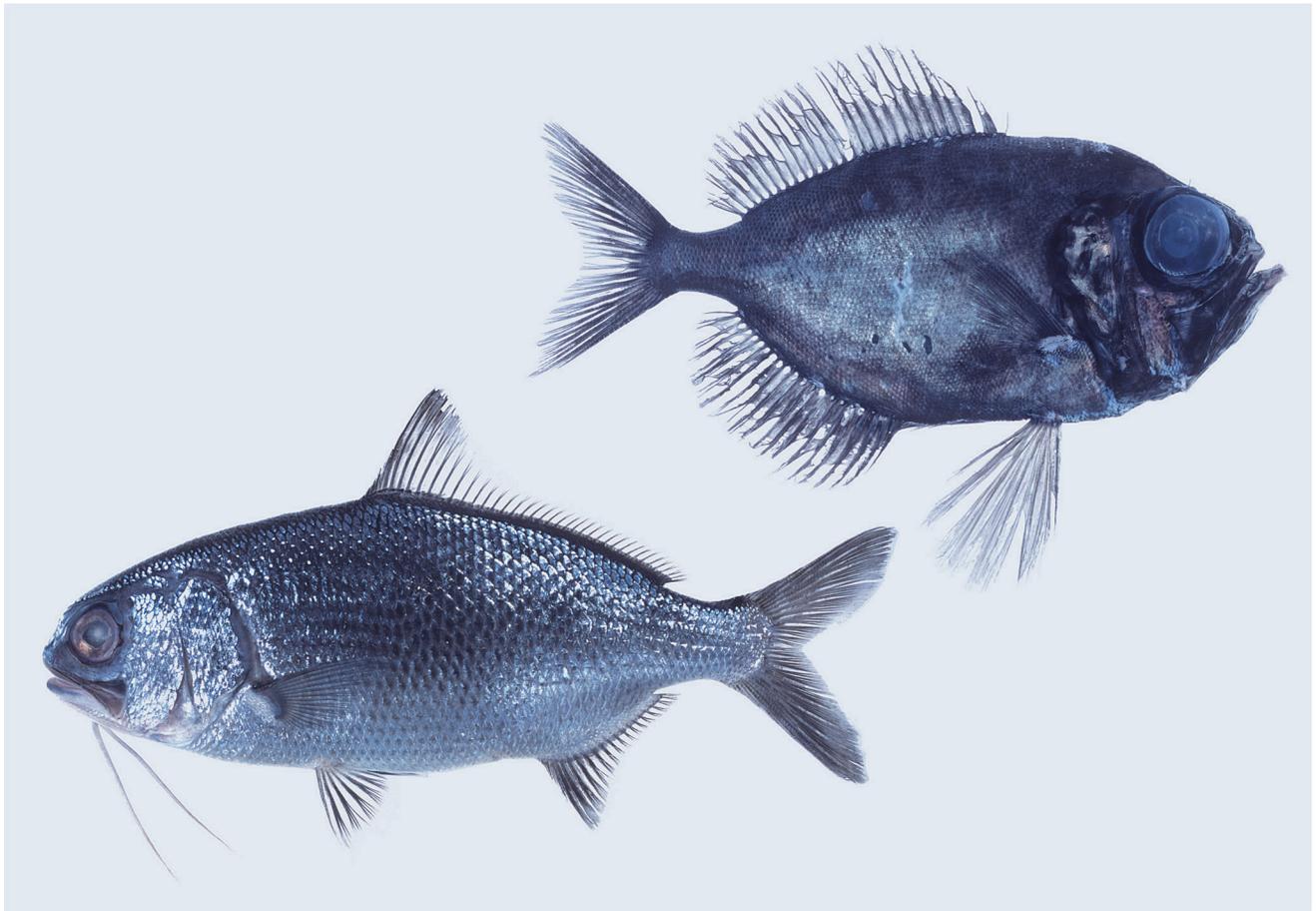
自然科学のとびら

Newsletter of the Kanagawa Prefectural Museum of Natural History

Vol. 12, No. 2

神奈川県立生命の星・地球博物館

Jun., 2006



ナカムラギンメと オカムラギンメ

右上：ナカムラギンメ *Diretmichthys parini* (Post et Quéro, 1981), KPM-NI 16659, 208.0 mm SL; 左下：オカムラギンメ *Polymixia sazanovi* Kotlyar, 1992, KPM-NI 16665, 248.0 mm SL

せのう ひろし
瀬能 宏 (学芸員)

写真のナカムラギンメは、2006年3月16日、神奈川県小田原市根府川沖で、江森正典さんが水深130mに仕掛けた刺網によって漁獲されました。本種は、日本では東北地方や北海道沖合の深海から記録されており、今回の標本は相模湾からの初記録になると同時に、日本における南限記録になると思われます。

一方、オカムラギンメは、2006年3月21日、愛知県渥美半島大山下の南東沖約22kmの地点で釣りをしていた三原幹生さんにより、水深130mの海底から

釣り上げられました。この種は九州・パラオ海嶺以外からの報告がなく、今回の標本は第2番目の記録になると同時に北限記録になると思われます。

ナカムラギンメはキンメダイ目ナカムラギンメ科、オカムラギンメはギンメダイ目ギンメダイ科に分類されており、系統的には異なりますが、同時期に同水深から同じような名前の魚が当館に寄贈され、しかも両種とも興味深い分布記録であったことは、偶然とは言え「へえーっ」と思わせるに十分な話題と思いませんか？